

ボランティアグループ アンダンテ

障害のある人ない人の音楽交流会

団体の紹介

ボランティアグループ アンダンテは、平成12年から加賀市内で、障害のある人もない人も楽しめる「ほのぼのコンサート」を企画、運営しています。コンサートを通して、障害の有無に関わらず、参加者全員が一体となり、真の融和親睦を図ることを目的に活動しています。団体名の「アンダンテ」は、音楽用語で「歩く」という意味であり、急がず、慌てず、歩くような速さで活動しようという意味が込められています。毎年コンサートを楽しみにしている人々の声を励みに、第20回の節目のコンサートの開催に向けて、準備を進めています。

コンサート会場 加賀市民会館(加賀市大聖寺南町二11-5)

活動内容

ほのぼのコンサートの開催



ダンス、障害者施設の利用者の発表ステージなど、色々な音楽を聴いて、身体で表現したり、踊ったり、自由に音楽を楽しんでいます。障害者就労施設等が作った野菜やお菓子、花などの販売コーナーも設置しており、毎回完売しています。コンサートの参加者からは、「障害のある人への理解が深まった」という声があり、障害のある人と地域の人との交流の場、共生の場、融和と親睦の場、となっています。

障害があるため、音楽を静かに聞くことができず、本格的なコンサートに行くことができなかつたり、コンサート会場に入れてもらえなかつたりする人にも、音楽の素晴らしさや演奏の感動を味わってもらおうと、平成12年から年に1回、「ほのぼのコンサート」を開催しています。当初は、障害のある人やその家族・親族の参加がほとんどでしたが、年々地域住民の参加も増え、近年は約200名前後が集まっています。障害のある人もない人も、クラシック音楽、童謡、アニメソング、



広域地図



詳細

